

今春の卒業生を迎えて開かれた就職教育講座「先輩に聴く」4号館講堂



企業説明会に積極参加を

学院大 就職講座で先輩が助言

金沢学院大学就職委員会と就職指導部は七月二十二日、四号館講堂で就職教育講座「先輩に聴く」を開き、在学生約二百七十人が、卒業生五人の就職活動体験談やアドバイスを耳を傾けました。卒業生たちは「企業説明会に積極的に参加し、自己分析によって、自分はどうな分野に興味があるか、どんな仕事をしたいか見極めることが大切だ」と助言しました。

講演した先輩は、いずれも平成十六年度の卒業生で、村木和成君、大戸屋野々市店、文学部）、中田有理さん（北國銀行、経営情報学部）、齋藤大義君（グローバル金沢、経営情報学部）、柏旨乃さん（北國新聞社、美術化学部）、藤井恵里さん（石川県埋蔵文化財センター、美術化学部）の五人。学生時代のアルバイト先に就職した村木君は、「品質や数値の管理も業務とする

だけにやりがいがある」と述べました。

齋藤君は「どの会社に入っても苦労はする。入った以上は腹を据えて頑張ることが大切」と激励しました。柏さんは、配属一カ月目に早くも広告づくりを担当させてもらったことなどを紹介し、「会社は皆さんの才能の芽が伸びることを期待している」と話しました。

藤井さんは、土器の実測など現在の業務を説明し、「大学時代にもっと勉強しておけば良かったと思う。興味のある分野をどんどん

興味わく分野 見極めて

社員と、単に労務を提供するだけのアルバイトは根本的に違う」と強調しました。中田さんは、「金融業界は勉強の連続で厳しいが、それ

本学ブースでも熱心に

リクルートのわくわくライブ

進学情報メディアのリクルートが主催する「わくわくライブ」は七月十六日、金沢市の石川県産業展示館四号館で開催され、金沢学院大学・金沢学院短期大学もブースを出展しました。



特に石川県内では、車や住宅に鍵をかけない無防備な人が多いことを強調し、施錠の徹底を訴えました。



高校生に本学の教育内容を説明する職員

様々な学問や仕事について直接見聞きすることで、高校生に進路選びのきっかけをみつけてもらうイベントで、本学は同様の催しにこれまで十二回出展しています。

本学のブースには地元の高校を中心に四十人が訪れ、来年度開設を予定している経営情報学部の新三学科の説明を聞き、短大食物栄養学科のカリキュラムや栄養士資格などについて、熱心に質問していました。

車や家の施錠しつかり

石川県警 田賀部長が短大で講演

金沢学院短期大学のプレゼミナール「犯罪に巻き込まれないために」は七月十九日、四号館講堂で行われ、石川県警察本部生活安全部長の田賀勝警視「写真下」が、犯罪被害者にならないために日ごろ注意すべきこと

とについて講演しました。田賀部長は、自転車の盗み、性犯罪、ストーカー、インターネット利用犯罪、車上狙い、住宅侵入盗などの最近の具体的な被害を例に挙げて、身を守る方法を伝授しました。

金沢学院大学フットサルサークル（平塚俊輔代表）は三月から三カ月間行われたBFCいしかわフットサルリーグ戦（前期）FOOT3部門で6勝1敗1分の成績を挙げ、優勝しました。同サークルは二年前から本格的に活動しています。

本学のフットサルサークルがリーグ優勝

29日に東高 学校見学会

金沢学院東高の学校見学会は七月二十九日午前九時半から、金沢市末町の同校で行われます。学校紹介、入試説明、部活動紹介と演技披露があり、午後は体験入部もできます。

小松駅、北星、中海、緑内灘、森本、高松の各中学校から東高校まで送迎バスを運行します。

発行・広報室